



昭和28年ごろ、レーヨン工場で行われていた運動会



厚化粧をして仮装行列を

# 旭化成100周年 工都延岡の思い出

3

延岡市 藤田洋生 (81)

子どもの頃、小町は、休日も平日もい  
学が中学生くら つも工員さんたちで  
いで。昔の旭化成、ハッピーでい

のでした。  
私は父がレーヨン工  
場の電気設備、母  
がベンベルグ工場でニ  
交々勤務してた、

プログラムの最後  
に、ベンベルグ工場を  
折返し地点とするマ  
ラソン大会があったの  
は、旭化成には昔から  
足の速い人が多かった  
からでした。  
プロ野球のオフィー  
ズには、大毎オリオ  
ンズと公府コンインス  
製造所、三井鉱山から  
選手が訪れて白熱した  
レースを展開していま  
した。今の「ゴールデ  
ンゲームズ in のべお  
か」の前身とも言えま  
す。  
年末には忘年会を兼  
ねた演芸大会もあり、  
各県対抗で出ノ初を

2022.7.19

# 第26回若山牧水賞

宮崎市で授賞式

受賞作

第4歌集

「ひかりの針がうたふ」

黒瀬珂瀾さん

娘を育てる日々を詠む

第26回若山牧水賞の授賞式は18日、宮崎市のニューウェルシ

ティ宮崎で開かれ、第4歌集「ひかりの針がうたふ」(書肆侃房発行)で受賞した黒瀬珂瀾(くろせ)さん(44)

が、新型コロナウイルスの影響で延期されていた。主催は県、県教育委員会、延岡市、日向市など。

若山牧水賞運営委員会委員長の河野知事は「受賞を機に今後さらに飛躍することを心から期待する。賞を通して人や自然への思いあふれる牧水の短歌の素晴らしさと、牧水を育んだ宮崎の文化の豊かさを全国に発信したい」とあいさつし、黒瀬さんに賞状とトロフィーなどを手渡した。

黒瀬さんは、受賞した歌集について「博多の地

若山牧水賞を受ける黒瀬珂瀾さん(18日、宮崎市のニューウェルシティ宮崎)



で2年間、妻と一緒に娘を育てる日々を詠んだ」などと説明した上で、「それは私にとっては旅の時間だが、その旅というポイントで牧水とのご縁を頂けた。受賞者の一人として賞を汚すことのないよう稼業にまい進したい」と話した。

授賞式記念講演があり、同賞の選考委員で歌人の伊藤一彦氏が「いざ行かむ、いざ詠まむ」若山牧水賞と牧水の今」と題して話した。同賞は日向市東郷町坪谷に生まれた国民的歌人・若山牧水の業績を顕彰し、短歌文学界の発展に貢献することを目的に1996年に創設した。審査は選考委員会が全国の有力歌人にアンケートを行い、上位に選ばれた歌

集を審議し、決定した。黒瀬さんは大阪府生まれで、大阪大学大学院文学研究科修士課程を修了。2003年に歌集「黒瀬宮」で第11回ながらみ

書房出版賞、16年に歌集「運喰ひ人の日記」で第14回前川佐美雄賞などを受賞している。短歌結社「未来短歌会」会員、読売歌壇選者など。

黒瀬さんはきょう午後3時から日向市の市中央公民館で同賞の受賞記念講演会を開催。あす午前中には牧水の母校、延岡市の延岡高校を訪問し、短歌を通じた生徒たちとの交流を予定している。

## 第26回若山牧水賞授賞式

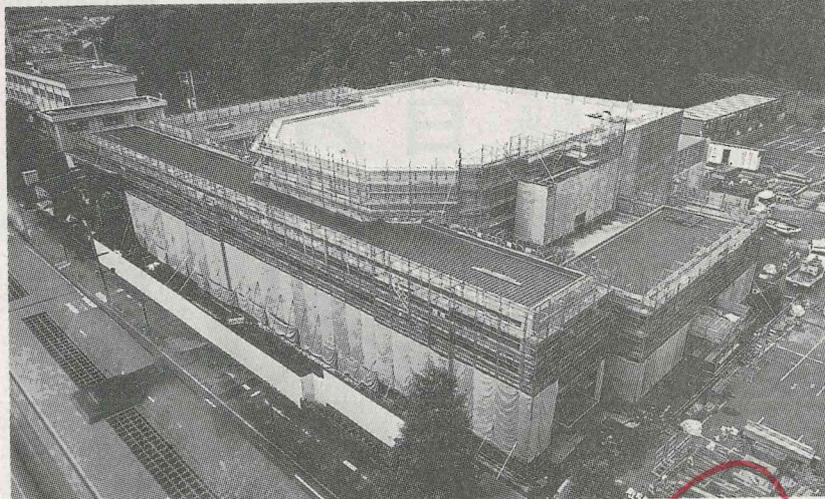


若山牧水の大きな写真が掲げられた若山牧水賞授賞式会場(18日、宮崎市のニューウェルシティ宮崎)

ニューウェルシティ宮崎

# 12月18日に開館

## 野口遵記念館



建設が進む野口遵記念館(きょう午前)

# 名誉館長に吉野彰氏

## 工藤旭化成社長らが出席し式典

延岡市

延岡市はきょう、同市東本小路に建設を進めている「野口遵記念館」を12月18日に開館すると発表しました。名誉館長にノーベル化学賞受賞者で旭化成名誉フェロー、名誉市民の吉野彰氏(74)が就任する。同日午前10時から、関係者による開館式典を行い、吉野氏や旭化成の工藤幸四郎社長(延岡市出身)らが出席してテープカットなどのほか、のべおか「第九」を歌う会による祝賀公演が行われる。

野口遵記念館は、市民に長年親しまれてきた「野口記念館」を継承し、延岡城跡を中心とした歴史・文化ゾーンの象徴的施設として生まれ変わる。昨年3月に着工し、総事業費約51億円をかけて整備が進む。建設事業には旭化成から30億円が寄付された。

ホールは1階510席、2階バルコニー84席、3階バルコニー81席の計675席。コンサートや演劇、舞台、講演会などさまざまな活動に利用できる。壁や舞台には市産材を使い、豊かな音響効果と、木のぬくもりに包まれる空間になるといわれる。また、さまざまなイベントや市民活動などに利用できる。簡易で小規模な舞台芸術公演、音響を使った音楽公演、展示会場、ダンス練習などに利用できる。

1階部分には野口遵顕彰ギャラリーを設け、人物像の紹介や延岡で事業展開するに至った由来、延岡が工業都市として発展していく黎明(れいめい)期の様子などを伝える。無料で使用できるスペースは式典終了後に開放。有料スペースの利用開始は来年1月20日からとなる。

野氏は1972年京都大学大学院工学研究科修士課程修了、旭化成入社。2001年電池材料事業開発部長、7年フェロー